

平成28年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱

第1 目 的

薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安全や安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっている。

国連では平成10年（1998年）6月に国連麻薬特別総会を開催し、21世紀に向けて、地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組むために、政治宣言及び行動計画の採択とともにその実施を行ってきたところであり、更に引き続き、平成21年（2009年）3月に採択された新政治宣言である「新国連薬物乱用根絶宣言」に基づき、平成31年（2019年）までに薬物乱用の根絶を目指すこととなったところである。

一方、我が国においても、乱用者層の低年齢化が懸念されることや、危険ドラッグを使用した者が、意識障害、嘔吐、痙攣、呼吸困難等の健康被害や二次的犯罪を起こす事例が多発していること等の状況を受け、内閣府特命担当大臣を議長とする「薬物乱用対策推進会議」の下、第四次薬物乱用防止五か年戦略（平成25年8月）及び危険ドラッグの乱用の根絶のための緊急対策（平成26年7月）を策定するとともに、医薬品医療機器法が改正され、検査命令等の対象となる物品の拡大、広告中止命令や広域的な規制を導入する等、国・都道府県・関係団体が連携し、政府一体となって総合的な薬物乱用対策に取り組んでいるところである。

沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動は、かかる背景の下、新国連薬物乱用根絶宣言（2009～2019年）の支援事業の一環として、県内における薬物乱用防止活動において、官民一体となり、県民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的とするものである。

第2 名 称

沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

第3 実施期間

平成28年6月20日から同年7月19日までの1ヶ月間とする。

第4 標 語

「ダメ。ゼッタイ。国際協力で薬物乱用をなくしましょう」

第5 実施機関等

- | | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 催 | 厚生労働省、沖縄県、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター |
| 協 賛 | 那覇地方検察庁、那覇保護観察所、那覇少年鑑別所、福岡入国管理局那覇支局、沖縄地区税関、第十一管区海上保安本部、沖縄県警察本部、沖縄県教育委員会、沖縄県薬物乱用対策推進地方本部 |
| 後 援 | 沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県薬剤師会、沖縄県医薬品登録販売者協会、沖縄県医薬品卸業協会、沖縄県医薬品配置協議会、沖縄県薬業連合会、沖縄県薬物乱用防止協会、沖縄県保護司会連合会、沖縄県少年補導員会連絡協議会、沖縄県社会福祉協議会、がじゅ |

まる沖縄、沖縄県防犯協会連合会、日本青年会議所沖縄地区協議会、沖縄県青少年育成県民会議、沖縄県青年団協議会、沖縄県婦人連合会、沖縄県PTA連合会、沖縄県高等学校PTA連合会、日本ボーイスカウト沖縄県連盟、ガールスカウト沖縄県連盟、沖縄県食品衛生協会、ライオンズクラブ国際協会337-D地区・沖縄R、国際ロータリー第2580地区沖縄分区、沖縄県BBS連盟、沖縄県塗料商業会、沖縄県農業協同組合中央会、沖縄県書店商業組合、沖縄県バス協会、沖縄県ハイヤー・タクシー協会、沖縄ファミリーマート、ローソン沖縄、琉球新報社、沖縄タイムス社、宮古新報、宮古毎日新聞社、八重山毎日新聞、八重山日報社、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、宮古テレビ、石垣ケーブルテレビ、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、タイフーンFM、FMコザ、FMたまん、エフエム二十一、エフエムみやこ、FMいしがきサンサンラジオ、FMニライ、FMレキオ、FMとよみ、FMよみたん、オキラジ、FMうるま、エフエムやんばる、FM久米島(順不同)

第6 実施事項

1 実行委員会の設置

- (1) 本運動の円滑な実施を期するため、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会(以下「実行委員会」という。)を設置する。
- (2) 実行委員会は、別に定める実行委員会設置要領により事業を実施する。

2 キャンペーンの実施

- (1) 6.26ヤング街頭キャンペーンの実施
各保健所単位で実施することとし、ヤングボランティアの協力を得て、啓発資材の配布等を行う。
キャンペーンは、6月25日(土)午後4時から1時間程度とする。
- (2) 地域団体キャンペーンの実施
各保健所単位等で実施することとし、地域団体の協力を得て、ポスターの掲示、一声運動等を行う。

3 募金運動への支援

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターが実施する「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動について支援する。

4 広報機関等による啓発宣伝

新聞、テレビ、ラジオ等報道機関の協力を得て、また、県の広報媒体を活用し、本運動の趣旨の普及徹底を図る。

5 官民一体となった事業展開の呼び掛け

官民一体となった事業の展開を積極的に推進するため、市町村を始めとする関係機関・団体等に対し、本運動の趣旨の理解と協力を呼び掛ける。

6 教育関係機関への協力の呼び掛け

教育委員会の協力を得て、児童・生徒に対し、薬物乱用防止の指導と本運動への参加を呼び掛ける。